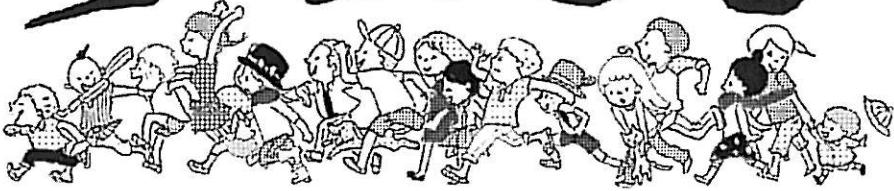


# 風の音



かぜ ひかる 2010年5月号  
全国福祉保育労働組合東海地方本部  
〒456-0006  
名古屋市熱田区沢下町9-7  
労働会館東館405  
TEL 052-881-2971  
FAX 052-881-2998  
e-mail fukuhotk@onyx.dti.ne.jp  
<http://www.fukuho-tokai.jp/>  
発行責任者／三富 和歌子

## 未組織訪問大作戦 大成功

4月27日(火)・中央本部  
の障害部会から山田さん・  
谷本さん・山元さん、3人  
のすけつとに加え、あいさ  
れんの大野さんも合わせ、  
総勢17人で名古屋市内に止  
まらず、愛知県は豊橋から  
岩倉、はては岐阜市まで、  
合計40ヶ所の未組織職場を  
訪問してきました。

緊張しながらの訪問  
でも反応は上々

アポイントも取らず、急に  
「すみません」と言って訪問し  
たにもかかわらず、ほとんどの  
場所で丁寧な対応をしてもらいました。中には「それでは、こちらでお話を伺います」と施設内に招かれることがありました。

30分近く今の情勢や制度的な問題について話し合い、「(障害者自立支援法改正が始まる)今こそ、障害分野だけでなく、保育・介護など全ての福祉分野で手をつけないで運動していく」と必要だと考えています」ということから、障害分野だけではなく、保護者も含めた全員がこの状況を好転させる「最初の一歩」を感じてくれました。

その裏側には、労働者だけでなく、施設側も今の制度体系の中でも疲弊し、労使ともに矛盾が持参した資料を渡しながら、噴出している様子を感じられました。

### 今こそ福保労の出番



「これからみんなで未組織訪問行ってきます！」

今自分たちが抱えている矛盾や問題点を、何とかしたい、と聞いてみます」と言ひ話も聞かれました。

今自分が抱えている矛盾や問題点を、何とかしたい、と思います。

「仲間がいるってうれしいね」と声をかけられるのを待っている、未組織分会3か所の訪問をやり切ります。

地本では、支部に未組織訪問を提起しています。5月中に各分会3か所の訪問をやり切ります。

「仲間がいるってうれしいね」とこの言葉を確信して、

行きましょう！

一步」です。この先も引き続き声をかけ、実際に足を運び、つながりを作っていくことが重要な課題です。

「わざわざ名古屋から来たんですか?」「苦労様です」「みんなで回して見ますね」と快く受け取ってくれたり、「これ、組合員じゃなくても行つていいいですか?」と積極的なお話を聞きました。

また、施設長自らが、「職員に知らせます」「(6月開催の障害の全国学習交流に)施設の研修として位置づけて、参加させてもらいます」という、嬉しい報告もありました。

6月に行われる障害部会の全国学習交流集会や8月に開催される「全障研大会」の案内に加えて「グリーンフェスティバル」の宣伝もしてきました。

「わざわざ名古屋から来たんですか?」「苦労様です」「みんなで回して見ますね」と快く受け取ってくれたり、「これ、組合員じゃなくても行つていいいですか?」と積極的なお話を聞きました。

自分の支部でも未組織訪問をがんばりたい。これが今回参加したメンバーの素直な感想です。今回の未組織ローラー大作戦は、参加した組合員自らが元気になった事も、大きな成功だと思います。

ここに行ってもやさしく対応してくれて嬉しかった。「今度は自分の支部でも未組織訪問を行なう」と、これが今回の未組織訪問をがんばりたい。これが今回参加したメンバーの素直な感想です。今回の未組織ローラー大作戦は、参加した組合員自らが元気になった事も、大きな成功だと思います。

つなぎを大切に

「風の音」は  
2面にあります

# 「語り合おう 仕事の喜びと悩み」



土田組合員

4月8日(木)に労働

会館本館にて、「語り合  
おう 仕事の喜びと悩み」と題した交流会が催されました。

この交流会は支部交流会のメンバーが中心となって、地域に点在する個人加盟の組合員や末組織職場の人も交えて、交流することを目的に企画されました。

会の前半では、岐阜の若松学園で働く土田組合員から、今の状況や土田さんの感じる「組合の意義」などを話してもらいました。

一人じゃ  
がんばれる

自分の職場しか  
知らなかつた

児童養護施設「若松学園」の組合員は土田さんただ一人です。これまで土田さんは、福保労に加盟して、解雇撤回を求めて闘つてきました。今では和解も成立し、無事職場に復帰し、子ども

も達に囲まれながら、日々仕事をがんばっています。

解雇撤回闘争の中「あいさつをされない」「いわれないな中傷を受ける」などの不当な状況の中で、がんばってこられたのは「仲間がいると思え

たから」だと土田さんは話します。

全国の交流会や地本の大会などで話をするとたびに、近くには居なくても「自分は一人じゃない」と感じたそです。

土田さんの実感を伴つたこの交流会は支部交流会のメンバーが中心となつて、地域に点在する個人加盟の組合員や末組織職場の人も交えて、交流することを目的に企画されました。

## 未組織の人や新入組合員も多数参加してくれました



その後は、それぞれ10人ほどのグループに分かれて、互いに今の状況や具体的な労働条件などを交流しました。その後は、それぞれ10人ほどのグループに分かれて、互いに本音を話し合うことになりました。だからこそ、お互いに本音を話す機会がありました。



3月から加入した点在分会の方も参加してくれました。「以前は学童の指導員をしていて、組合には当然入るものと思っていた。今の仕事に替わり、組合（福保労）に入つて、こうした場があり、つながれる場ができる、ホッとできた。これから、職場内で広げていきたい。」と話されました。

福保労東海地本が組合員の「ホッとできる場」になつたことに嬉しさと、新たな責任を感じました。

これからも、一緒に仕事の喜びと悩みを出し合い

ながら、生き生きと働き続けられるよう、職場を、社会を変え

ながら、がんばっていきましょう!

組合に入つて  
ホツとした

はガイドヘルパーでも作業所の活動はまた別にあって確認しました。

そして「年休が取れない」「人出が足りない」「忙しそう」と、要求運動につながるグループをみんなで出し合うと、少し肩の力が抜けた様子でした。

風の音

ができる組合の大切さをみんなで確認しました。

奇跡的に私たち生きている。悲しいことに、自転車乗つて得ふ注感い等し、しながれ卷差點の横断歩道をわざり、グループのメンバーも、障害職場の仕事そのものがよくわかつた様子でした。

「組織内組合があつて、国交もしている」「その分、労働条件も他に比べていいと思う」という話から、本とされた「s」作業所の4人がその場で加盟用紙を書いて出し、作業所の方にとつても「自分達の所しか知らないから、いいと思っていた」と新しい発見もあつたようです。

組合員から、「なかなか職場内で本音で話せる機会がない」という実態も話されました。だからこそ、お互いに本音を話し合うこと

はガイドヘルパーでも作業所の活動はまた別にあって確認しました。

そして「年休が取れない」「人出が足りない」「忙しそう」と、要求運動につながるグループをみんなで出し合うと、少し肩の力が抜けた様子でした。

# 職場で働きながら会議



## かわらまち分会

かわらまちでは、年末に職員増加があった。



けやきの木分会  
のまごとの合同分会を持ち、要  
求書を提出した。就業規則に  
「遅刻に関する規定」が盛り込  
まれた問題で、このことは、自  
分たちの労働条件の引き下げに  
なる。この提案がされたとき、  
も、「遅刻をした」という後ろめ

たさがあり、その場で返事をし  
てしまつたことが反省として残  
る。今回の合同分会からの教訓  
は、分会で本音をぶつけ合うこ  
と。忙しいけど、問題にぶつか  
つることが大切。その中でみん  
なが回結していく。仲間の力が  
あつてこそ解決できる。互いに  
知り合うことから力にし  
ていきた。

その事を意識しながら  
いた時こそ組合員が本音をぶつけ  
合うことが大切。その中でみん  
なが回結していく。仲間の力が  
あつてこそ解決できる。互いに  
知り合うことから力にし  
ていきた。

(長田)  
【シリーズ・わたしのおすすめ】  
すずかけ分会 真鍋 明彦

記憶して「エレギングヤット」「ウルトラセブ  
ンガスキ」などすっかりウルトラマンや怪獣に  
なりきっています。保育園でも昔のウルトラマ  
ンの歌を歌つて保育士さんを懐かしがらせてい  
ます。

今まで、何度も人員増を要求  
してきたが、実現できなかつた  
が、職場の実態から必要性を認  
めてくれた。  
3月10日に団交があり、臨職  
の待遇改善を要求してきた。一  
つの法人の中では、かわらまち、

池内わらべ、荒畠もぢのきど  
つあり、すり合わせていく」と  
が必要。今まで交流できてこな  
かつたが、初めて3分会で合同  
役員会を持てた。お互いの要求、  
しんどさ・大変さを分かり合う  
ことをしつつ、何が自分たちに  
とっていいことなのか?それを  
考えていただきたい。

(土藤)

これまで、こちらが遠慮し  
てきました人に思い切って声をかけ  
て拡大につながつた。その結果、  
一つの職場で過半数を組織する  
ことができた。50人の壁を何と  
非正規の人を喫茶店に誘い拡大  
して説明して入ってくられた人もい  
れて、これまで、こちらが遠慮し  
てきましたが、自分たちに  
あっていいことなのか?それを  
考えていただきたい。

率でいったら少ない。11月か  
らの「待遇改善給付金」で非正  
規職員の給与を、実質毎年20円  
ずつの刻みでアップさせること  
ができた。その成果を持つて、  
ことのしりつ、何が自分たちに  
あっていいことなのか?それを  
考えていただきたい。

めばえ分会 理事会か  
ら「団交はしない」と  
言われているが、そん  
な事を言わ



う分会で学習を進めてきている。  
理事会から「夏季休暇の短縮」「  
と「生休の削減」の提案。その  
他にも矛盾点が多いっぽい。  
子ども達が健やかに育つために  
は、保育士の労働条件を良くし  
ていくことが必要。その思いが  
一致してきている。(栄)

## みんなと福祉会分会



最新の映画ではウルトラセブンの息子ウルト  
ラマンゼロが戦っています。その前のウルト  
ラハ兄弟では平成ウルトラマン(つるの剛士が  
ウルトラマンダイナだったって知っています?)  
と昭和のウルトラマンが一緒に映画  
になっています。

ゆたか支部 現勢(3月11日時点)26人か  
ら5人拡大した(4月末時点では  
合計7人拡大しています)。ま  
ずは30人  
の目標を達成して、  
次は50人  
の目標を達成して、  
特に三男はいろいろなウルトラマンや怪獣を  
借りてみています。

夫婦で東海地本(障害分野、それはずか  
け福祉会とみなと福祉会分会)の我が家は、た  
だ今子育て真っ最中...と、いうことでどうしても  
生活や娛樂が子ども中心になつてしまふ環境に  
おかれ、ちょっととさびしい...。かつてよくお勧  
め映画...と、言いたいところですが、男の子3  
人といふこともあつて、どうしても見に行く映  
画は特撮ものやアニメばかり。それでも、そ  
んな中、父子ではまつてするのがウルトラマン!  
最近はDVDレンタルが100円の上、品ぞろえ  
も充実ということでかなり昔のウルトラマンを  
借りてみています。



みんなと福祉会分会  
は大きく持つて。それでも組織  
率でいったら少ない。11月か  
らの「待遇改善給付金」で非正  
規職員の給与を、実質毎年20円  
ずつの刻みでアップさせること  
ができた。その成果を持つて、  
ことのしりつ、何が自分たちに  
あっていいことなのか?それを  
考えていただきたい。

(相川)

2010. 6. 19~20

## 第16回「障害福祉職場に働く職員の全国交流集会」in愛知

この集会の目的は、障害者と労働者が願う福祉をつくるためには…、元気に楽しく働き続けられます。また、特別講演で、佐藤久夫氏から、障がい者制度改革推進会議の状況などを学び、この先の運動づくりにつなげたいと思います。

現在、障害協議会のメンバーを中心記念講演ンバーを中心記念講演の企画などを練ってきています。当初、講師は福祉分野に問わず、元プロ野球選手の古田さん、SPEEDの今井絵里子さん、ノーベル物理学賞の益川さんにあるも壁は厚く高く…。そして、幾多の交渉の末、テレビ東京「カンブリア宮殿」出演や「働く幸せ」（重度知的障害のことを通して）の著者である「大山泰弘」氏に祈念講演をお願いすることになりました。

「人間の究極の幸せは、人に愛されること、人にほめられること、人のやくにたつこと、人から必要とされること、働くことによってこの4つの幸せを得ることができる」と



実行委員長の佐藤です。  
全国仲間と一緒に、学び、互いに交流しましょう！  
みなさんの参加を待っています！

- ①働きやすい職場とは  
②健康問題  
③児童部会  
(助言者・近藤直子先生)  
④フレッシュユセミナー  
(若い人中心)

著者で伝えていきます。この講演を聴けば、明日から仕事の活力になること間違いなし！  
夕食交流会は駅から近く、公共交通機関が便利な金山・東海地方本部。各県の人たちを温かく迎え、盛大な集会にしていきましょう。

### 健康研修会の紹介

日時：5月22日（土）  
10:00～12:00  
場所：労働会館東館ホール  
主催：健康調査実行員会  
参加費無料  
ご自由にご参加下さい



5月1日（土）まぶしいほど日差しの中、名城公園にて、愛知県中央メーテーが開催されました。会場には450人が集まり、東海地本からは、総勢50人ほどがメーテーに参加しました。壇上に上がった博松議長から、今の社会情勢と、その中で求めらる組合の意義が語られました。

集会後は、丸の内までデモ行進。「軍事費を削って、教育・福祉・医療に回せ！」「大企業は内部留保を吐き出し、雇用を守れ！」と道行く人々に訴えていました。

【編集後記】  
この号から編集会議に仲間入りした私は、右も左も分からず、おんぶに抱っこはこの事だなど実感（汗）なかなか分からぬ事も多いけど頑張るぞ！と思いついたね。意気込んでもスタートした人も多い

春が入りました。私の職場は各クラスに新人さんがいました。意気込んでスタートした人も多い春を過ごして新しくなりましたね。（のみ）

## 7.18~19 夏季組合学校INヒントレー 『しゃべって学んで元気を補給』

今年の組合学校は名古屋からちょっと近場で開催。

アクセスはとっても便利、名鉄「中部国際空港駅」から歩いて5分？！

18日（日）は特別報告として、西岡さんと成田さんから、NPT体験リポートを報告してもらいます。そして、平和の問題を深めるため、引き続きの開校講演を、東海地本の顧問弁護士である川口先生に「イラク派兵違憲訴訟」についてお話をいただきます。川口先生にはそのまま基礎講座に残っていただき、労働法のお話もしてもらいます。

19日（祝）の閉校講演では、「ヤンキー先生」の母校として有名な北海道の「北星学園余市高校」より本間先生と田中先生をお招きします。「余市高校」には、不登校・非行などさまざまな問題を抱える子ども達が「もう一度やりなおしてみよう」と全国から集まっています。そして、人とのつながりの中で、課題を乗り越え、自信を取り戻し変わっていく。そんな素晴らしい実践のお話が聞けます。北海道から来ていただく機会はめったにありませんよ！

今年の分散会のテーマは「しゃべり場！」みんなでいっぱいしゃべりましょう！